

令和2年9月25日

朝日カルチャー野外観察

「光の道を越えて宮地山・在自山を歩く」

宮地嶽は神功皇后を祀った神社で日本一の注連縄、太鼓、鈴が有名です。最近ではテレビで話題となった光の道があるところです。

今回の野外観察は宮地嶽神社の見ておきたい・知っておきたい下記7項目の自然の楽しみ方・面白さを引率者1名と受講者11名に紹介しました。

- ①神社に祀られているオカタマノキ
- ②神社には帰化植物が多く植樹されている？：ヤシ、メタセコイア、米松の仲間
- ③大きな虫こぶが出来るイスノキ
- ④葉の形が面白い樹木：カクレミノ、ヘラノキ
- ⑤葉の裏がロー材に覆われているシロダモ
- ⑥珍しい木の実を拾おう！：ナラカシワ、ムクロジ
- ⑦コゲラの巣の跡

皆さん、どの項目も興味津々でメモを取り続けていました。一番盛り上がったのは、「何故、この神社にはヤシの仲間がシュロも含めて4種類も植えられているのか？」ある参加者は「ハワイが好きだったから」など面白い回答がありました。本当かどうかは定かではありませんが、「正解は住職さんが宮崎に新婚旅行で行った際、路地にたくさんのヤシが植えられているのを見て感激し、この神社に植樹



した」とのことを披露したら、受講者の皆さんが宮崎に新婚旅行に行った世代の人たちばかりですので、大きな笑い声が響き渡りました。ヘラノキの前では非対称の葉に驚くと共に地面に落ちている1枚の総苞葉を持つ花序を飛ばしながら、この小さな葉で新天地を探し求めるのかと感心していました。コゲラの巣跡では「枯れかかった木も大事にしないと困る生き物もいますよ」ときちんと環境教育も聞いてもらいました。

前日までの雨で登山道も滑りそうな箇所もありましたが、無事に宮地山と在自山を制覇しました。

スタッフ：久保田、中村

